

令和5年度第3回茨城県医療審議会（茨城県地域医療構想調整会議合同）会議録

- 1 日時 令和6年3月25日（月） 18時20分から19時20分まで
- 2 場所 茨城県庁11階 1103会議室（Web会議（対面併用）として開催）
- 3 出席者 別添「参加者名簿」のとおり

4 議事

（1）定足数の確認

事務局司会（医療政策課課長補佐 笹口）は、医療審議会について委員総数20名に対し、出席委員15名であることを確認し、茨城県医療審議会運営要領（以下「要領」という。）第4条第2項に規定する定足数に達したことを宣した。

（2）出席者の紹介

茨城県医療審議会委員のほか、茨城県地域医療構想調整会議の構成員として各構想区域における調整会議の議長が出席していることを報告した。

（3）事務局の紹介

病院事業管理者の軸屋、保健医療部長の森川、保健医療部次長の砂押ほか、保健医療部及び福祉部、病院局の関係課長等が出席していることを報告した。

（4）議長の選任

要領第4条第1項の規定により、鈴木会長が議長に就いた。

（5）会議の公開

議長は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

（6）会議録署名人の指名

議長は、要領第11条第1項の規定に基づく会議録署名人に、松崎委員及び横濱委員を指名した。

（7）議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換（別紙参照）が行われた。

● 諮問事項

（1）第8次茨城県保健医療計画（案）について

- ① 第8次保健医療計画（案）の概要について
- ② 第8次保健医療計画に関するパブリックコメント、市町村、関係団体等への意見聴取結果と対応状況について
- ③ （別冊）第8次（前期）茨城県医師確保計画（案）について
- 説明に基づき質疑応答及び意見交換が行われ、第8次茨城県保健医療計画（案）については、原案のとおりで差し支えない旨の答申を行うことで承認された。

● 報告事項

- （1）地域医療介護総合確保基金 令和6年度要望事業について
- （2）病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について
- （3）令和5年度の医療法人部会における調査審議結果について
- （4）紹介受診重点医療機関の公表に向けた協議状況について
- （5）CTやMRIなどの医療機器の共同利用について
- （6）令和5年度医師派遣調整について
- （7）茨城県保健医療計画と関連する各種計画の策定等について
- ① 茨城県総合がん対策推進計画—第五次計画—（案）
- ② 第2期茨城県循環器病対策推進計画（案）
- ③ 第4次健康いばらき21プラン（案）
- ④ 茨城県感染症予防計画（案）

以上をもって全ての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。
上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和6年4月10日

茨城県医療審議会会長

鈴木邦彦

会議録署名人

松崎信夫

会議録署名人

横濱 明

令和5年度 第3回 茨城県医療審議会
(茨城県地域医療構想調整会議 合同)

参加者名簿

○ 委員

区 分		役 職 名	氏 名	摘 要
医療を提供する立場にある者	医師会	茨城県医師会会長	鈴木 邦彦	会議室出席
	医師会	茨城県医師会副会長	松崎 信夫	会議室出席
	歯科医師会	茨城県歯科医師会会長	榎 正幸	オンライン参加
	薬剤師会	茨城県薬剤師会会長	横濱 明	オンライン参加
	病院協会	茨城県病院協会会長	塚田 篤郎	会議室出席
	医療法人	茨城県医療法人協会理事	伊藤 道子	オンライン参加
医療を受ける立場にある者	市町村	茨城県市長会会長	高橋 靖	欠席
	保険者	健康保険組合連合会茨城連合会会長	高輪 忍	欠席
	被保険者(福祉)	茨城県社会福祉協議会副会長	榎原 利至	オンライン参加
	被保険者(介護)	茨城県介護支援専門員協会副会長	浅野 有子	欠席
	被保険者(女性)	茨城県女性団体連盟会長	本多 美知子	オンライン参加
	被保険者(生協)	茨城県生活協同組合連合会	青木 恭代	オンライン参加
学識経験のある者	医学	筑波大学理事・附属病院長	原 晃	オンライン参加
	公衆衛生	筑波大学教授	我妻 ゆき子	オンライン参加
	地域医療	筑波大学教授	田宮 菜奈子	オンライン参加
	看護	茨城県看護協会会長	白川 洋子	欠席
	栄養管理	茨城県栄養士会常務理事	鈴木 薫子	オンライン参加
	救急業務	茨城県消防長会会長	大内 康弘	オンライン参加
	法律	弁護士	上島 佳子	オンライン参加
	その他	茨城県議会議員	海野 透	欠席

○ 保健医療計画部会専門委員 (オブザーバー参加)

役 職 名	氏 名	摘 要
茨城県感染症対策連携協議会委員長	須磨崎 亮	オンライン参加
茨城県精神疾患保健医療計画策定検討会座長	高沢 彰	オンライン参加

○ 各構想区域調整会議議長等

役 職 名	氏 名	摘 要
水戸地域医療構想調整会議議長 (水戸市医師会長)	細 田 弥太郎	オンライン参加
日立地域医療構想調整会議議長 (多賀医師会長)	横 倉 稔 明	オンライン参加
常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議議長 (那珂医師会長)	小野瀬 好 良	オンライン参加
鹿行地域医療構想調整会議議長 (鹿島医師会長)	松 倉 則 夫	オンライン参加
土浦地域医療構想調整会議議長 (土浦市医師会長)	小 原 芳 道	オンライン参加
つくば地域医療構想調整会議議長 (つくば市医師会長)	成 島 淨	オンライン参加
取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議議長 代理 (竜ヶ崎保健所長)	石 田 久美子	オンライン参加
筑西・下妻地域医療構想調整会議議長 (真壁医師会長)	榎 戸 久	オンライン参加
古河・坂東地域医療構想調整会議議長 (古河市医師会長)	秋 葉 和 敬	オンライン参加

○ 事務局（茨城県）

役 職 名	氏 名	摘 要
保健医療部長	森 川 博 司	会議室出席
保健医療部次長兼医療局長	砂 押 道 大	会議室出席
保健医療部医療局医療政策課長	藤 井 直 路	会議室出席
保健医療部医療局医療人材課長	小 野 幸 子	会議室出席
保健医療部保健政策課長	山 口 雅 樹	会議室出席
保健医療部感染症対策課長	武 村 知 己	会議室出席
保健医療部健康推進課長	埜 清 美	会議室出席
保健医療部健康推進課 がん・生活習慣病対策推進室長	伊 東 正 憲	会議室出席
保健医療部健康推進課 地域包括ケア推進室長	大 澤 和 則	会議室出席
保健医療部薬務課長	長 洲 敦 子	会議室出席
保健医療部生活衛生課長	仁 藤 健 二	会議室出席
福祉部障害福祉課長	森 田 教 司	会議室出席
福祉部長寿福祉課長	山 田 俊 光	欠 席
福祉部少子化対策課長	楊 箸 幸 恵	オンライン参加
福祉部子ども未来課長	長 島 ゆみ子	欠 席
福祉部青少年家庭課長	今 泉 達 夫	欠 席
病院局病院事業管理者	軸 屋 智 昭	会議室出席
病院局経営管理課長	酒 井 和 二	会議室出席
病院局経営管理課企画室長	丹 茂 樹	オンライン参加

令和5年度第3回茨城県医療審議会（茨城県地域医療構想調整会議合同）
質疑応答要旨

日時：令和6年3月25日（月）
18時20分から19時20分まで
場所：茨城県庁11階1103会議室
（Web会議（対面併用）として開催）

●諮問事項

（1）第8次茨城県保健医療計画（案）について

① 第8次保健医療計画（案）の概要について

② 第8次保健医療計画に関するパブリックコメント、市町村、関係団体等への意見聴取結果と対応状況について

③（別冊）第8次（前期）茨城県医師確保計画（案）について

鈴木会長 先ほど開催された地域医療対策協議会において、修学生医師向けキャリア形成プログラムの見直し等についての説明があった。私から、医師不足地域で勤務する間に、将来何科にすすんでもかかりつけ医になれるように、地域の一般の診療所、有床診療所、中小病院で研修する期間を設ける必要があるという話をした。今後の検討課題という位置付けになり、ぜひ前向きに進めていきたいと思っている。超高齢社会を乗り切る制度を構築するためには、地域医療構想、地域包括ケアシステム、かかりつけ医機能の充実強化が三位一体で進む必要がある。

知事から諮問のあった第8次茨城県保健医療計画案については、当審議会として適当である旨を答申してよろしいか。

～ 異議なく承認 ～

●報告事項

（1）地域医療介護総合確保基金 令和6年度要望事業について

（2）病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について

（3）令和5年度の医療法人部会における調査審議結果について

（4）紹介受診重点医療機関の公表に向けた協議状況について

（5）CTやMRIなどの医療機器の共同利用について

（6）令和5年度の医師派遣調整について

塚田委員 7ページ、筑波大学以外の4大学からはゼロ回答だった。実際に人が足りないのだと思うが、具体的にどういうところが難しいのかというのが大学からあったのか。

医療人材課長 個別の診療科について、詳細にいただいている。人員不足ということ

でご回答いただいている。

塚田委員 やはり医師の働き方改革が関係しているのか。

医療人材課長 おそらくそういう要因はあるだろう。

塚田委員 それに対しての県としての働きかけは考えているか。

医療人材課長 大学への要請の際に、各大学の診療科の先生方と、もう少しコミュニケーションをとっていきたいと考えている。

(7) 茨城県保健医療計画と関連する各種計画の策定等について

- ① 茨城県総合がん対策推進計画—第五次計画—(案)
- ② 第2期茨城県循環器病対策推進計画(案)
- ③ 第4次健康いばらき21プラン(案)
- ④ 茨城県感染症予防計画(案)

全体意見

鈴木会長 来年度から、医療計画、トリプル改定、働き方改革が始まる。診療報酬改定では賃上げ分以外はマイナス改定ということだと思うが、2025年に向けた社会保障税一体改革はほぼ終わりの時期を迎えており、その最後の同時改定としてはこの改革に沿ってしっかりと方向性が出された改定である。10年ぶりに地域包括医療病棟という新しい病棟が新設されたが、これは回復期に近い。本当の急性期病院というのは全て7対1以上の病棟を持つ病院であると国は考えており、7対1以上で地域包括医療病棟をとらない病院が真の急性期病院ということになるのだろう。診療報酬改定を含むトリプル改定は、地域医療構想や地域包括ケアシステムとも連動した形で進んでいく。かかりつけ医機能報告制度の協議がこの夏頃まで行われた上で固まっていき、次の地域医療構想も今年の議論後、27年度から始まるという話も聞いている。地域包括ケアシステムは全世代全対象型で2040年まで続くということであり、こういった一連の取り組みがバージョンアップしながら2040年に向けて我が国が超高齢社会を乗り切る取り組みになると考えられるため、引き続き本県としても対応していきたい。